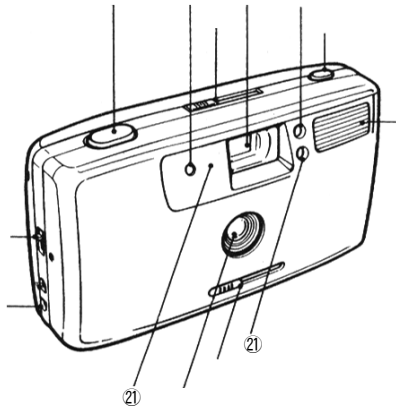
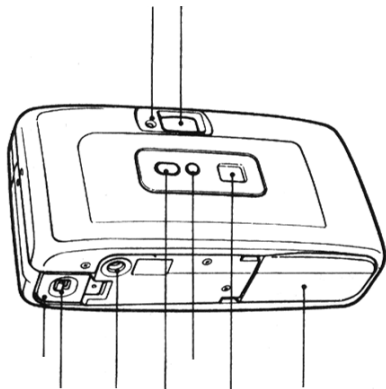
Konica

SUPER BIG mini BM-S 70

使用説明書

各部の名称

①フラッシュ発光ボタン
②セルフタイマーランプ兼赤目軽減ランプ
③ファインダー窓
④プリントタイプ切替ノブ
⑤測光窓
⑥シャッターボタン
⑦カートリッジぶた開放ノブ
⑧ストラップ取り付け部
⑨レンズ(レンズカバー)
⑩パワースイッチ兼レンズカバースイッチ
⑪フラッシュ
㉑オートフォーカスセンサー窓

⑫ファインダー接眼部
⑬フラッシュ充電完了ランプ
⑭電池室ぶた
⑮電池室ぶた開放ノブ
⑯三脚取り付け穴
⑰セルフタイマーボタン
⑱フィルム途中巻き戻しボタン
⑲フィルムカウンター
⑳フィルムカートリッジぶた

A．ストラップの取り付け方［図１］

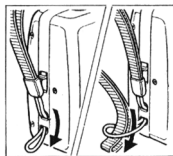
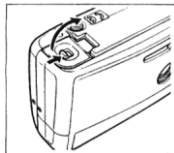
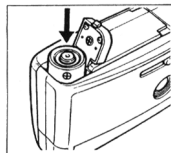



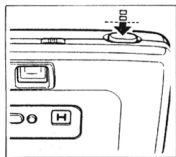
図１

B．電池の入れ方［図２、３］

図２

図３

1. 電池室ぶた開放ノブ⑮を矢印の方向にスライドさせ、電池室ぶた⑭を開けます。
2. CR2リチウム電池の一側を先に電池室に入れます。
3. 電池室ぶたをカチッと音がするまで押して閉めてください。
4. パワースイッチ⑩をスライドさせると、レンズカバーが開き電源がONになります。
   元に戻すと電源がOFFになります。

C. 電池容量を確認します。[図4]

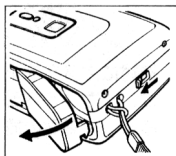
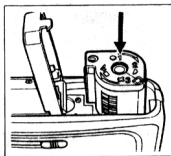
図4

シャッターボタン⑥を半押しし、その場で止めておくと、カメラの電池容量をフィルムカウンター⑲にＨかＬで表示します。
Ｈは内容量が十分であることを示し、Ｌは容量が近いうちにきれることを示します。
Lが現れてもフィルム１本分を撮りきる容量は十分あります。
Ｌで最後まで撮り終えると、自動的にフィルムを巻き戻します。巻き戻しが完了すると、自動的に止まります。このときフィルムカウンター⑲上でＬが点滅し､容量が空になったことを警告します。

この状態下では、カメラの全ての機能にロックがかかります。新しい電池に交換すればロックが解除されます。

※ご注意：スキー場など低温の状態で使用すると、電池の性能が落ちるため、カウンタ表示がＬで点滅する場合があります。
この場合は常温に戻した後、電池を一度取り出して再度カメラに挿入してください。

D. フィルムを入れます。［図５、６］

図５

図６

lX240カートリッジフィルムをご使用ください。

1. カートリッジぶた開放ノブ⑦を矢印方向にスライドさせ、カートリッジぶた⑳を開けます。
2. 未使用のカートリッジを使用状態マーク面の反対側から、カートリッジ室の奥まで押し入れます。
3. カートリッジぶたをカチッと音がするまで閉めてください。“ 01 ” がフィルムカウンター⑲に表示されると、撮影準備完了です。中にフィルムカートリッジが無ければフィルムカウンターは “ 00 ” を表示します。

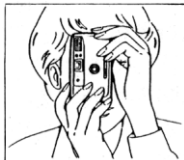
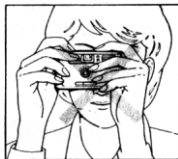
E. フィルム感度

このカメラには必ずIX240カートリッジを使用してください。フィルム感度はIS0100からlS0400をご使用になれます。
フィルムカートリッジを入れると、フィルム感度を自動的に判別します。

F. オートパワーオフ

パワーONのまま５分間使用しないと、電池の消費を節約するため、自動的にオートパワーオフモードに切り替わります。シャッターボタン⑥またはセルフタイマーボタン⑰を押すと、再度パワーONになります。

G. カメラの持ち方［図７］

常にカメラは両手でしっかりお持ちください。

カメラを構えるときは、常に垂直にフラッシュを上にしてください。

レンズ、フラッシュ、センサー等に指が掛からないように気を付けてください。

H. プリントタイプの選択

プリントタイプ切替ノブ④を左右にスライドすると、撮影途中で3画面に切り替えできます。

Ｃ：クラシックサイズ(標準)
Ｈ：ハイビジョンサイズ
Ｐ：パノラマサイズ

I.　通常撮影

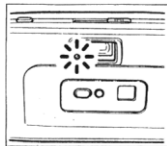



図８

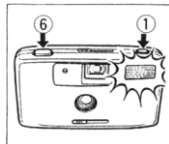
1. ファインダーを通して構図を決め、シャッターボタン⑥を押します。最初にシャッターボタンを半押しすると、赤目軽減ランプ②が点灯し、フラッシュ撮影時には赤目現象を軽減します。そのまま続けてシャッターボタンを押し込むと、シャッターが切れ写真が撮影されます。

2. オートフラッシュモード［図８］
測光窓⑤を通して十分な光量が測定されると、フラッシュ⑪は充電の有無に関わらず発光しません。
光量が足りないときは、充電されている場合自動的に発光します。
光量が足りなく、充電も十分でない場合は、充電が完了するまでシャッターボタンが切れません。
充電が十分で、フラッシュ撮影が可能な状態ではフラッシュ充電完了ランプ⑬が点灯します。

フィルム感度	撮影適応距離
ISO100	1-3m
ISO400	1-6m

3. フォーカスロック撮影
このカメラはオートフォーカスです。
シャッターボタン⑥を半押しすると、あなたが狙った被写体の最適なピントを合わせます。
(これをフォーカスロックといいます。)
シャッターボタンを半押ししたまま写真の構図を決めてください。このとき撮影距離を変えないで下さい。
(フォーカスロックはボタンから指をはなすと解除されます。)
そのままシャッターボタン⑥を押し込むと、写真が撮れます。
シャッターボタンを離すと、最初の状態に戻ります。

J.　日中フラッシュ撮影［図９］

図 9

フラッシュ発光ボタン①を押しながら、シャッターボタン⑥を押します。
逆光などの明るい条件で強制的にフラッシュを使う場合に行います。

K.　セルフタイマー撮影［図10］

図 10

1. セルフタイマーボタン⑰を押すと、セルフタイマーがスタートし、離してから10秒後にシャッターが切れます。最初の７秒間はセルフタイマーランプ②が点灯します。残り３秒間は点滅しシャッターが切れます。
2. もしセルフタイマー撮影を中止したいときは、シャッターが切れる前にもう一度セルフタイマーボタンを押すかパワーOFFしてください。

L.　連続撮影［図11］

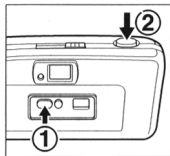



図 11

動いている被写体の撮影には、連続撮影モードを使用します。
セルフタイマーボタン⑰を押しながらシャッターボタン⑥を押し続けると､連続撮影が始まります。
一度スタートすると、シャッターボタンを押している間はセルフタイマーボタンを離しても、連続撮影ができます。
このモードではフラッシュは使用できません。

M.　フィルム巻き戻し［図12、13］

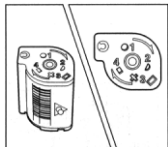



図 12

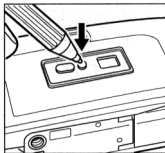



図 13

フィルムの最終駒を撮影すると自動的に巻き戻します。

1. フィルムカウンター⑲に巻き戻し状況が表示されます。フィルムを巻き戻す間、巻き戻し完了を示す“00”の点滅まで、フィルムカウンター⑲に数字が表示されます。
2. カートリッジぶた開放ノブ⑦を押し下げてフィルムカートリッジぶた⑳を開け、カートリッジを取り出します。
3. 途中巻き戻しボタン⑱をカメラのストラップの突起部などで押しますと、フィルムを全て撮り終える前に巻き戻します。
4. 使用済みや使用途中のフィルムを入れた場合、二重撮影防止のため全ての機能にロックがかかります。

※ このカメラは途中巻戻しをしたフィルムの再使用はできません。
ご注意ください。

N. 主な仕様

形式	：	lX240　オートフォーカスAEレンズシャッターカメラ
画面サイズ	：	16.7×30.2㎜
レンズ	：	コニカレンズ f=24㎜ F4.5(３群3枚)
焦点調節	：	赤外線ノンスキャンアクティブ式自動焦点 撮影距離0.8～∞
シャッター	：	絞り兼用プログラム電子シャッター
露出連動範囲	：	lS0200フィルム使用時 EV9～EV16
フィルム感度	：	自動設定(lS0　100，200，400)
ファインダー	：	逆ガリレオ式ブライトフレーム
フラッシュ	：	手ぶれ限界の低輝度時に自動発光するフラッシュマチック機構 連動範囲(lS0100)１～３ｍ
プリントタイプ	：	プリントタイプ切替ノブによるファインダー内のフレームをＨタイプ、Ｐタイプ、Ｃタイプの３種類に切替。 フィルム途中切替可能
モード切替	：	自動フラッシュ撮影、日中フラッシュ撮影、セルフタイマー撮影、連続撮影
セルフタイマー	：	電子式、作動時間・約10秒、セルフタイマーランプが約7秒点灯した後、約３秒点滅、途中解除可能
フィルム給送	：	電動式、フィルムカートリッジぶたを閉じるとスタートするワンタッチローディング、自動巻き上げ、フィルムの指定枚数終了で自動巻き戻し、巻き戻し後自動停止、途中巻き戻し可能、カートリッジ途中交換機能無し
フィルムカウンター	：	順算式、撮影表示パネルに表示
電源	：	リチウム電池(CR2・3V)
大きさ	：	109×58×36㎜
質量(重さ)	：	130g(電池別)１本